

喜多見地区防災計画

[令和7年修正]

喜多見地区

【喜多見地区防災計画作成団体】

(順不同)

喜多見北部町会	喜多見西部町会
喜多見中部町会	喜多見東部町会
喜多見上部自治会	都営喜多見 2 丁目団地自治会
宇奈根町会	鎌田協和会
法人格鎌田南睦会	日赤奉仕団喜多見分団
民生委員・児童委員協議会	成城消防署
成城消防団	喜多見駐在所
鎌田駐在所	優つくり小規模多機能介護喜多見
そんぼの家成城南	東京中央農業協同組合砦支店
喜多見あんしんすこやかセンター	砦地域社会福祉協議会事務所
喜多見小学校	砦南小学校
喜多見中学校	

目 次

1 喜多見地区の特性	喜多見-1(-830-)
(1)自然特性	喜多見-1(-830-)
(2)社会特性	喜多見-2(-831-)
(3)地域危険度	喜多見-4(-833-)
(4)被害想定	喜多見-5(-834-)
(5)防災資源一覧	喜多見-8(-837-)
(6)防災資源マップ	喜多見-9(-838-)
(7)区民アンケート	喜多見-10(-839-)
2 各団体の防災活動～現在の取組状況～	喜多見-19(-848-)
3 喜多見地区の課題と取り組み	喜多見-26(-855-)

1. 喜多見地区の特性

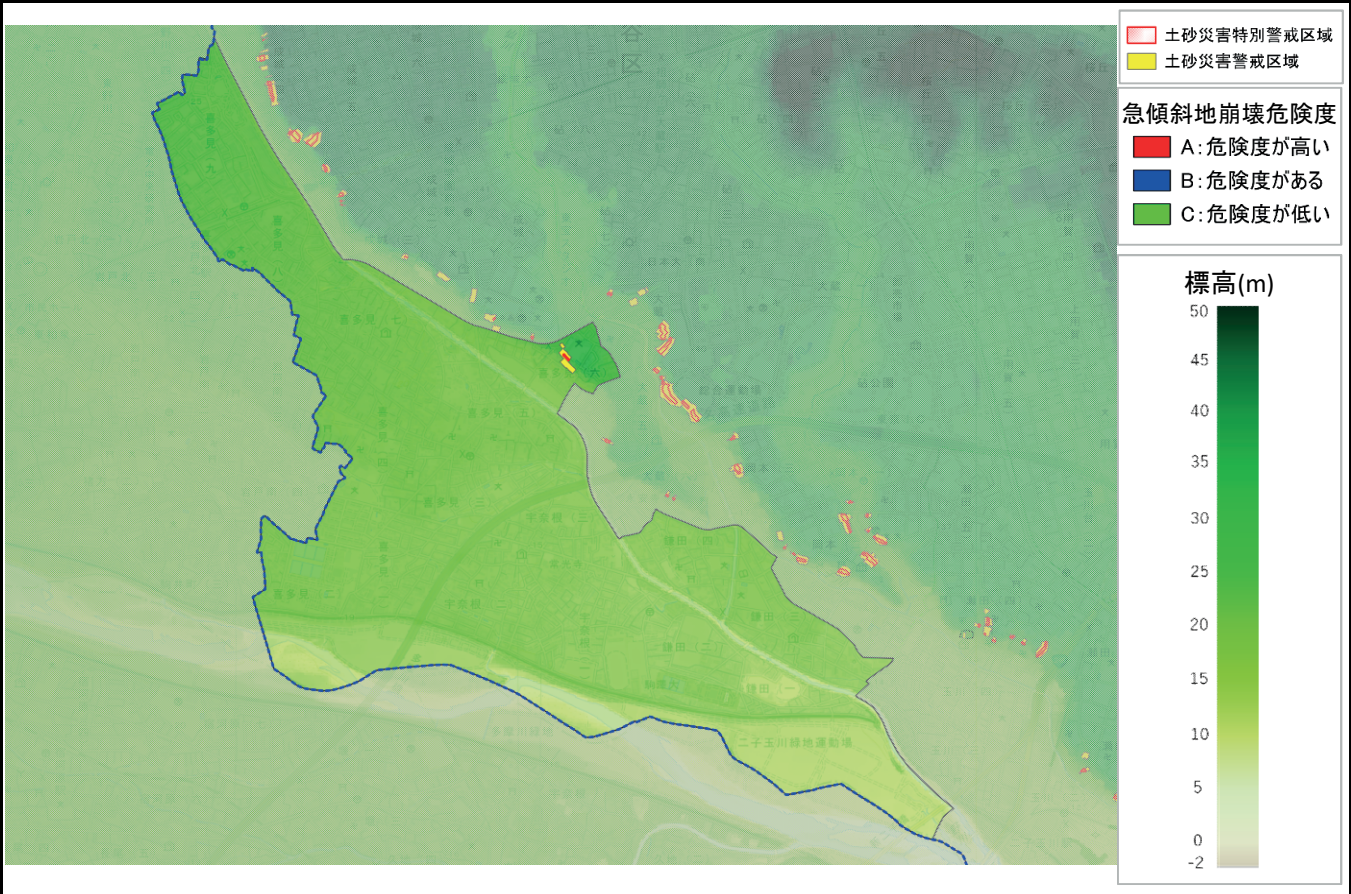
(1)自然特性

面積	3.97 Km ²	最高標高	37.6 m	最低標高	6.5 m
----	----------------------	------	--------	------	-------

位置



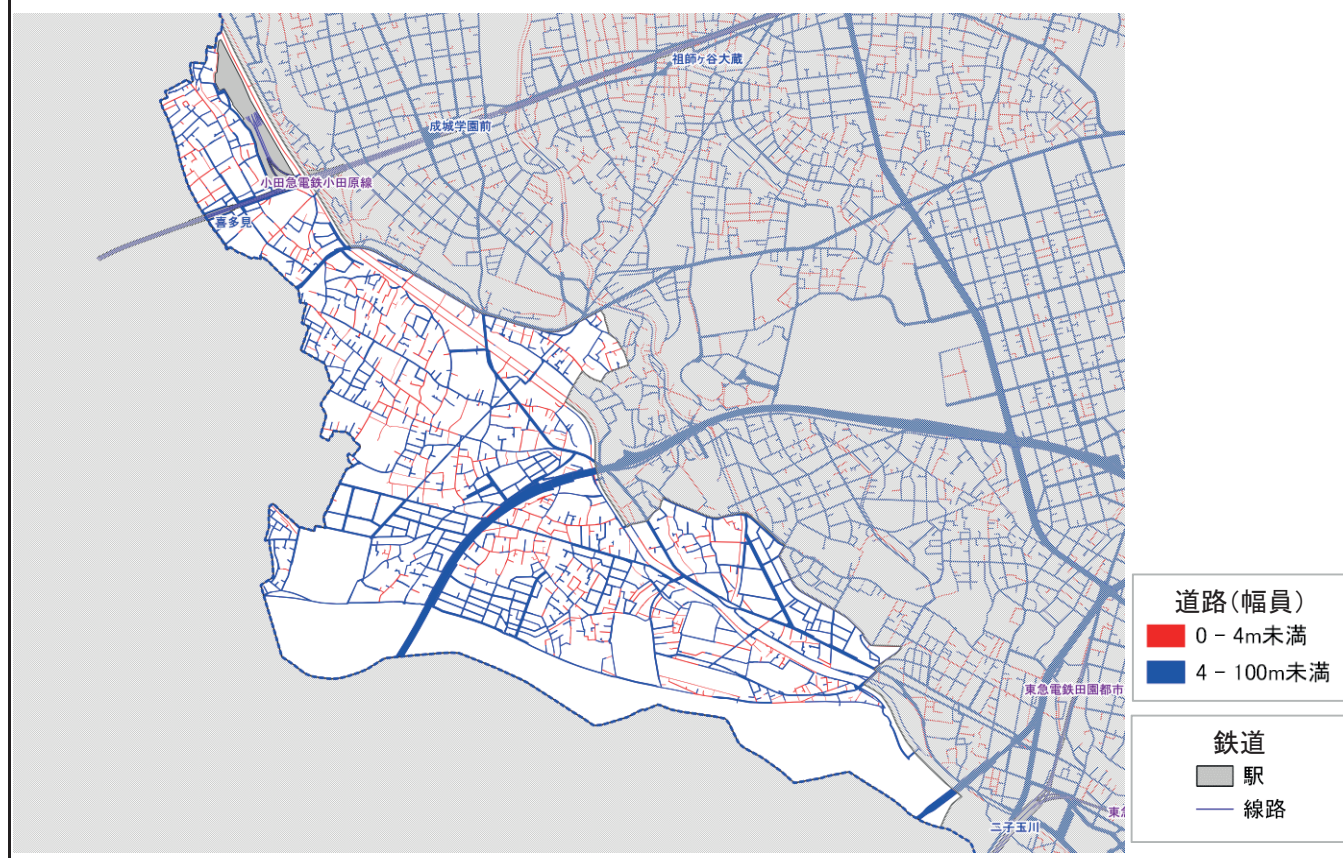
標高・急傾斜地崩壊危険度・土砂災害警戒区域等



(2)社会特性

人口	33,228	人	細街路率	32.0	%
世帯数	16,039	世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	84.8	棟/Km ²
1世帯あたり	2.07	人	耐火率(建築面積ベース)	56.8	%
若年層数(15才未満)	4,418	人	土地利用(宅地)	48.9	%
若年層率(15才未満)	13.3	%	土地利用(宅地以外)	51.1	%
高齢者数(65才以上)	6,561	人	鉄道駅	小田急小田原線喜多見駅	
高齢者率(65才以上)	19.7	%			
昼間の人口	26,513	人	産業	商業	48.8 %
夜間の人口	33,891	人		工業	11.8 %
昼夜間人口比	0.78	-		農業	39.4 %
町会・自治会数	9	-			

道路・公共交通機関



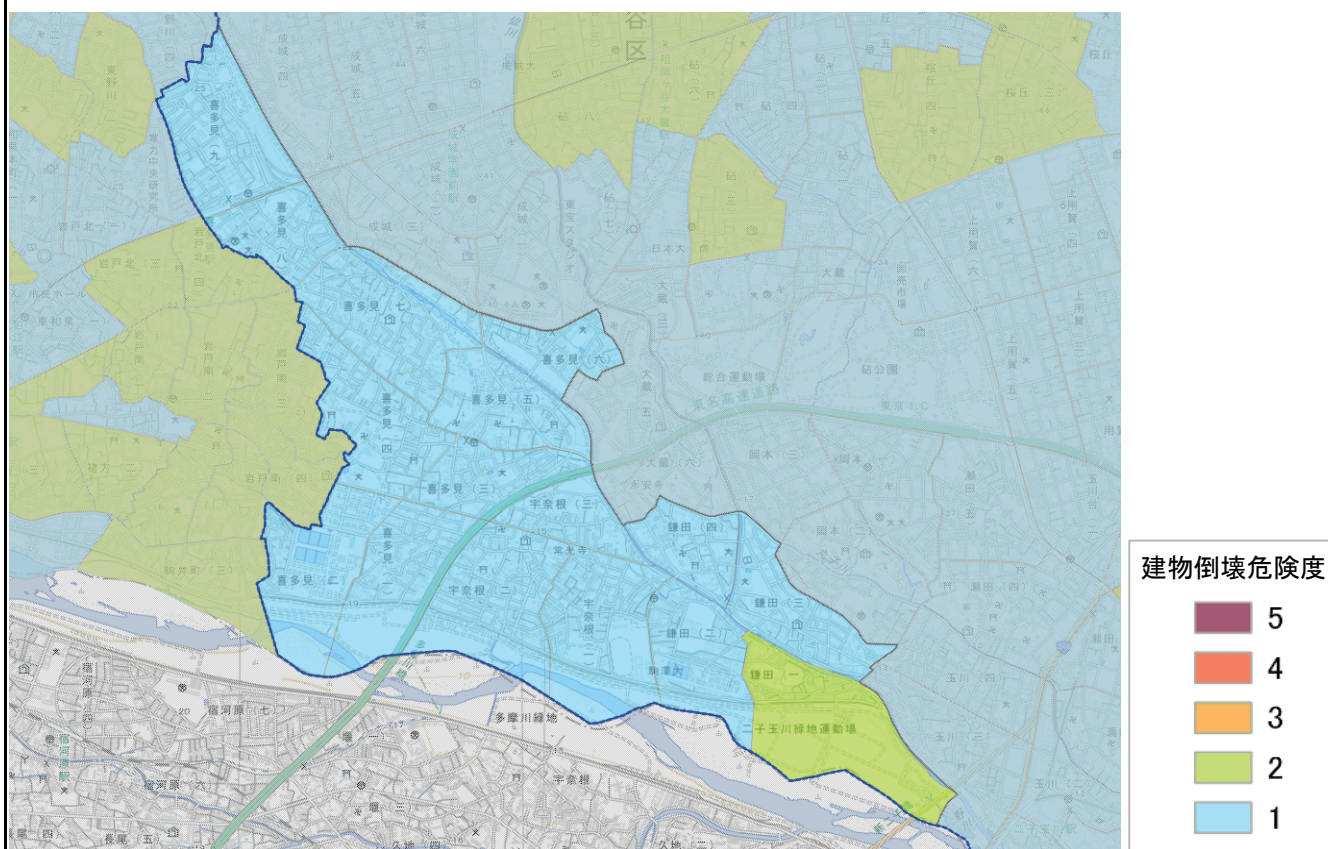
(2)社会特性

産業

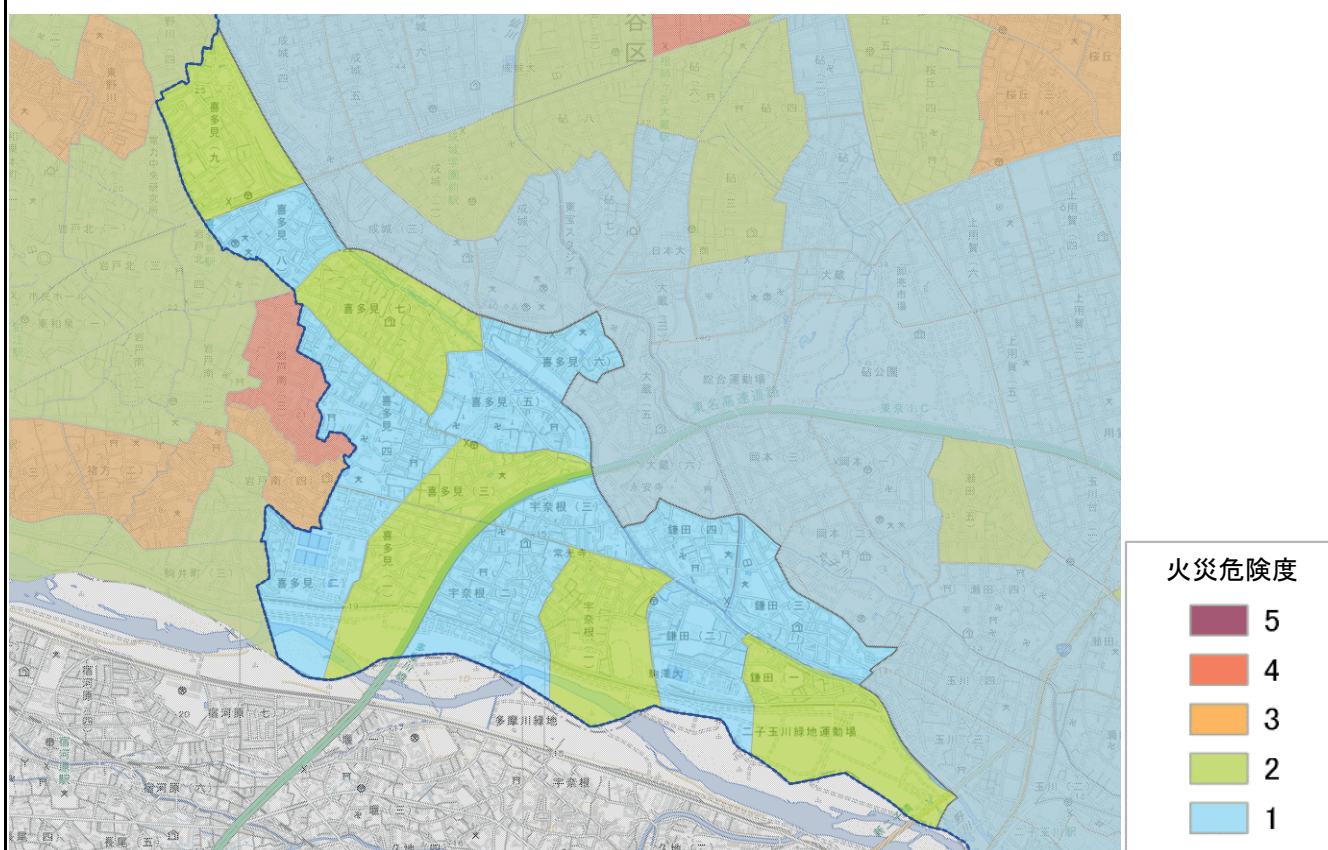


(3)地域危険度

建物倒壊危険度



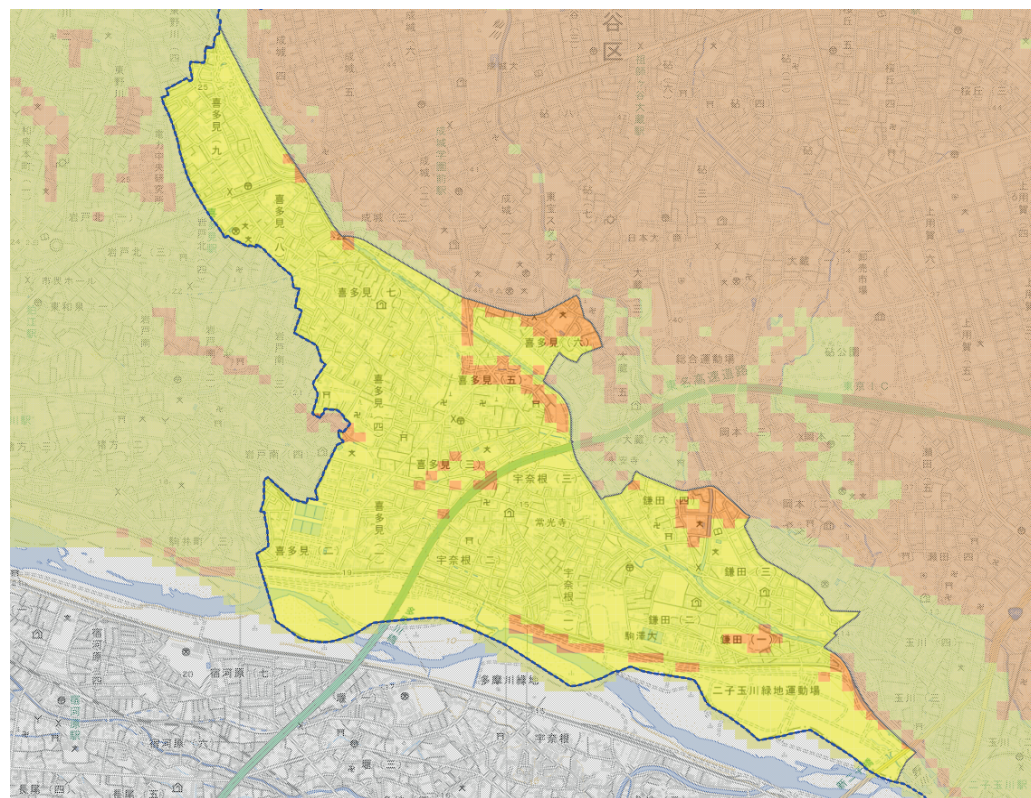
火災危険度



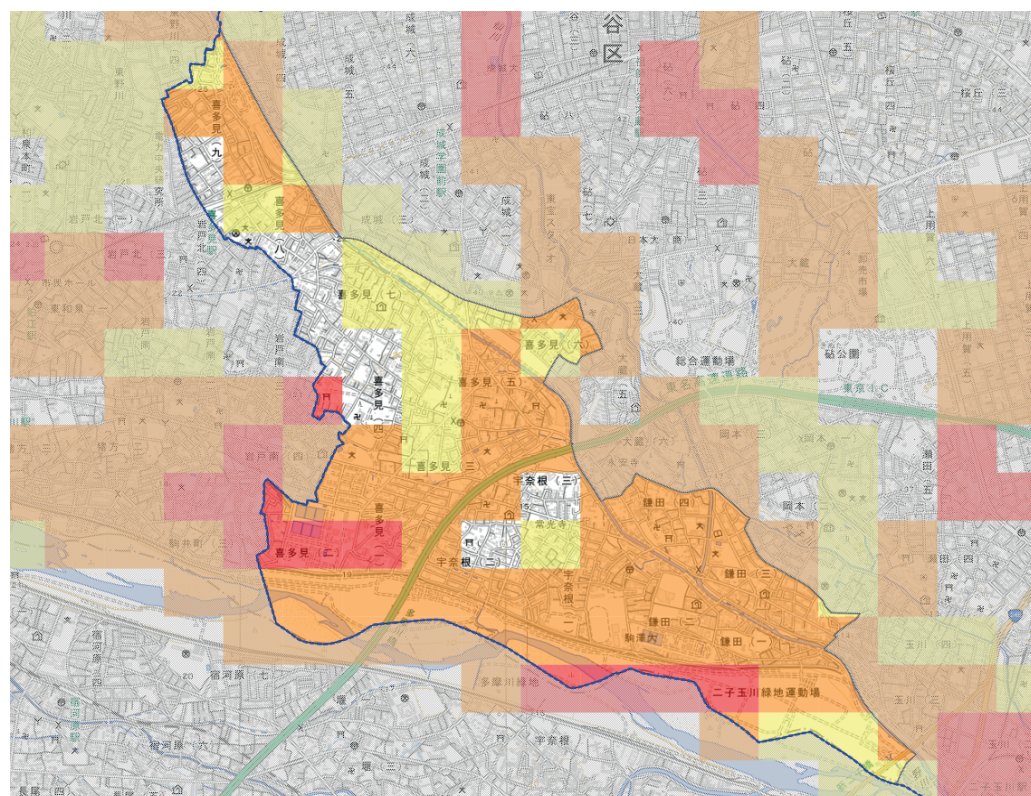
(4)被害想定

全壊棟数	60 棟	死者	15 人
半壊棟数	353 棟	負傷者	163 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	566 棟	うち重傷者	28 人

震度分布

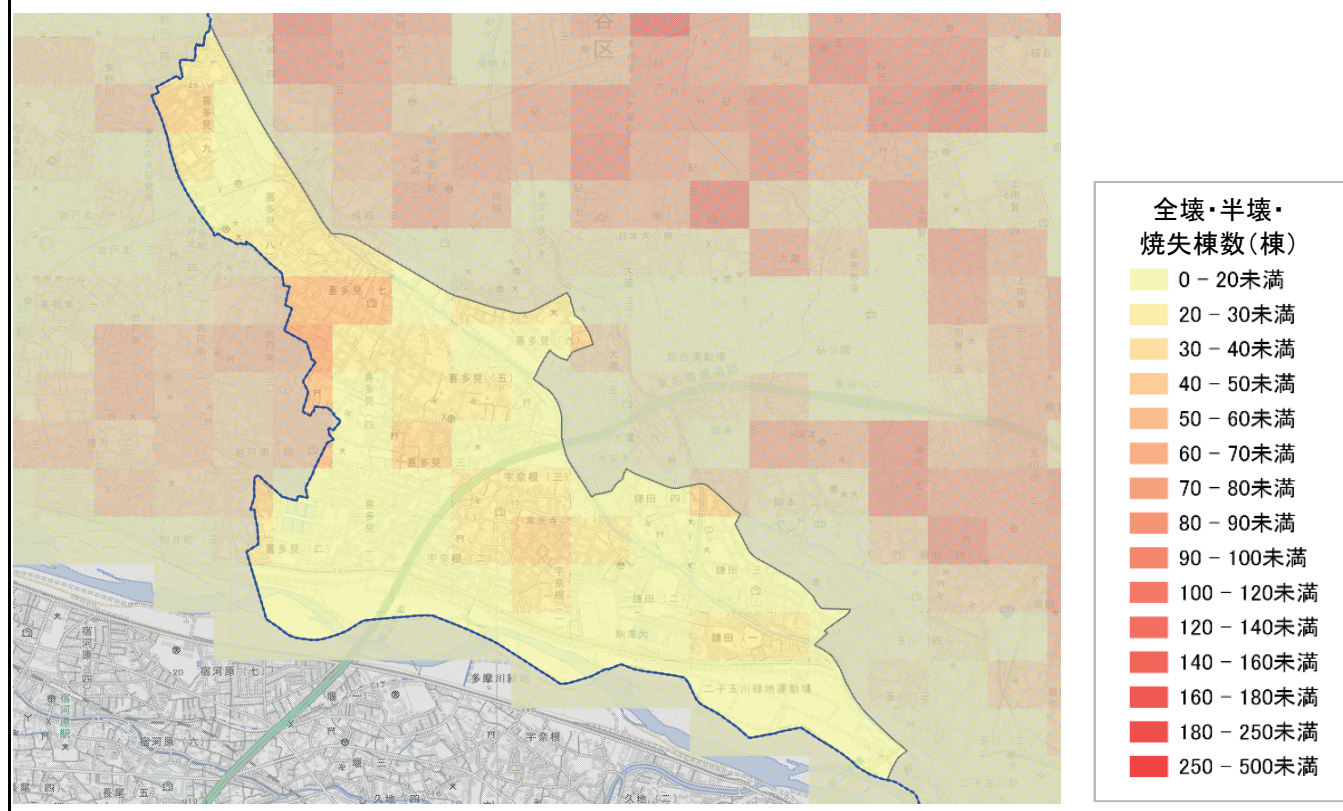


液状化分布



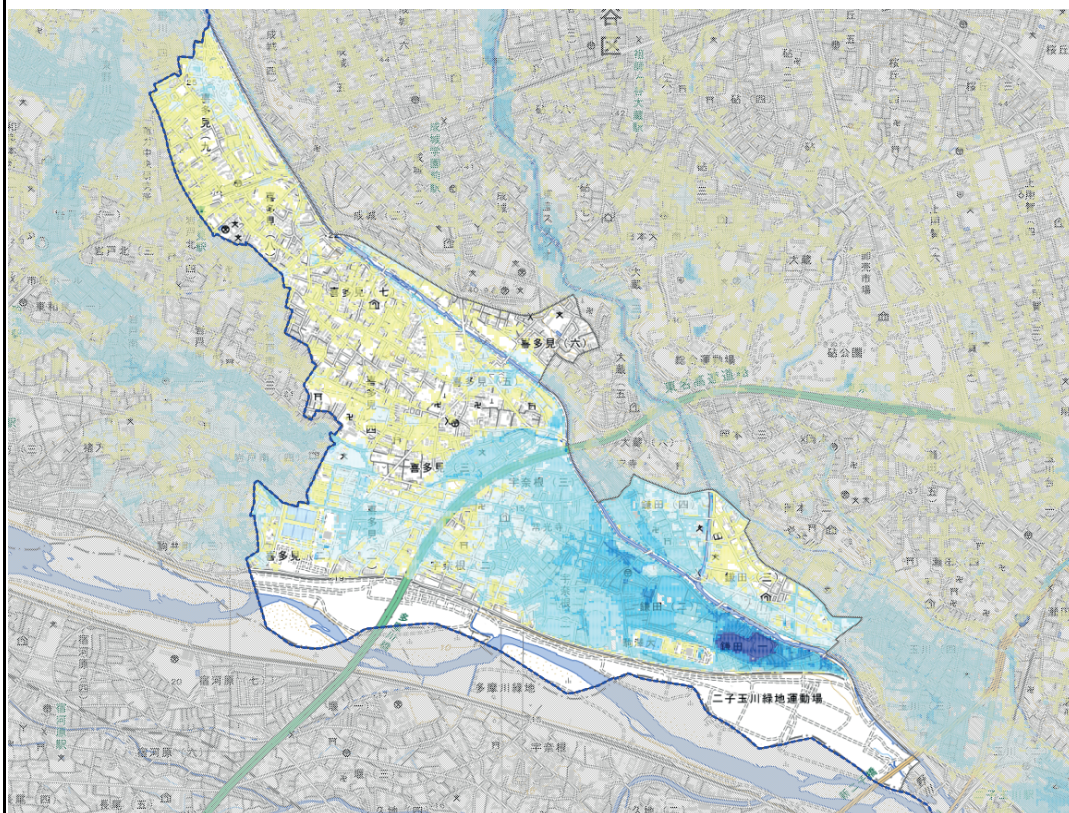
(4)被害想定

被害棟数分布

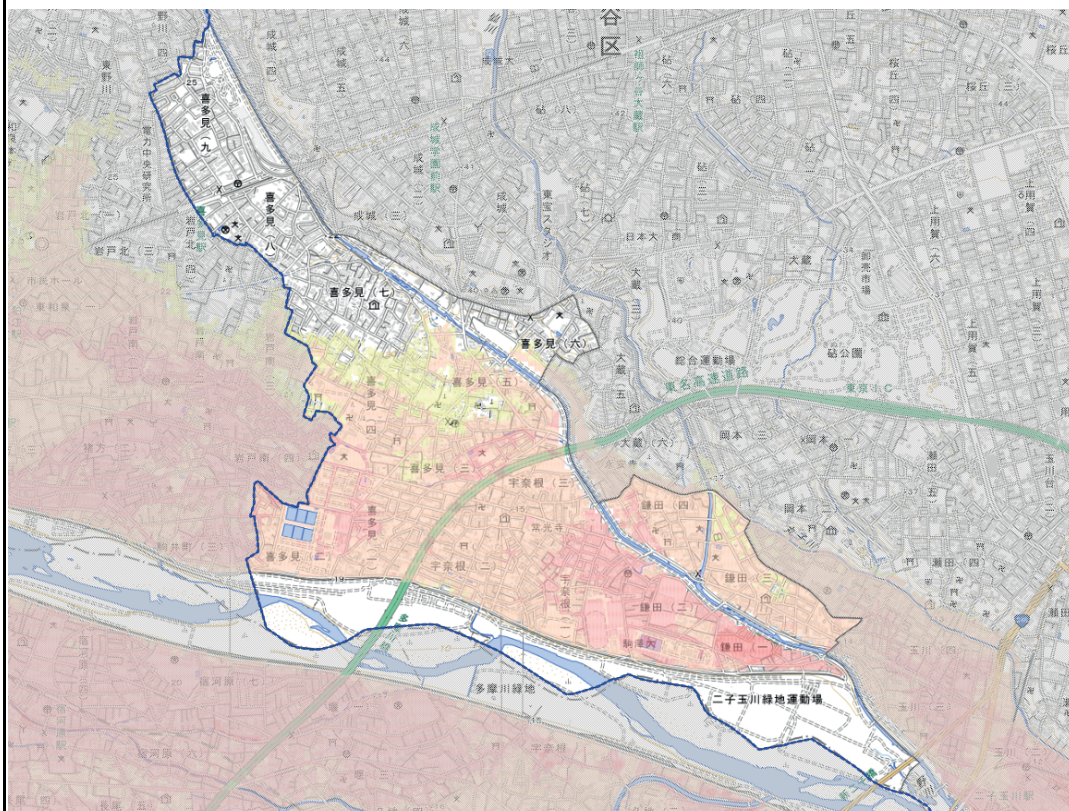


(4)被害想定

浸水想定(内水氾濫・中小河川洪水版)



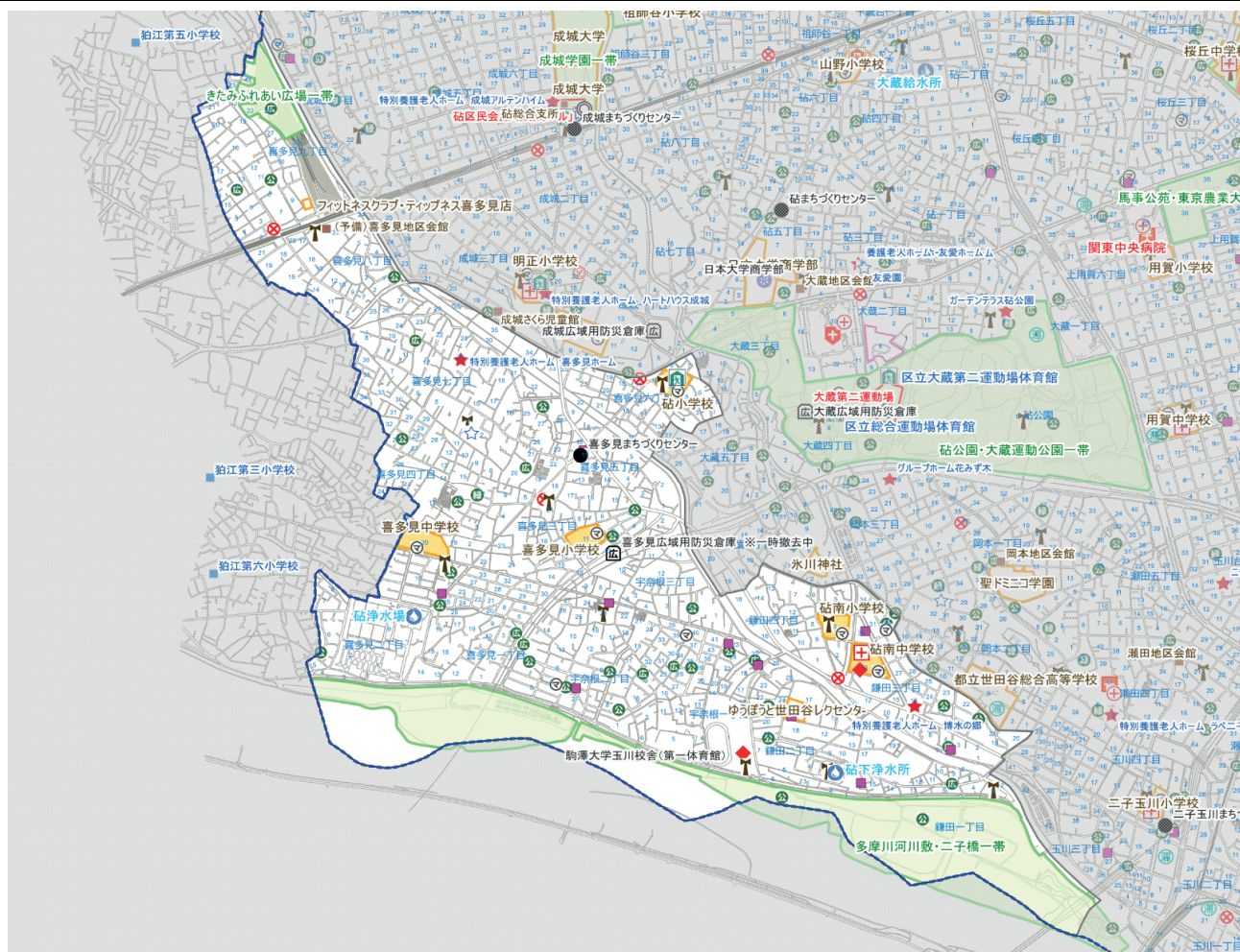
浸水想定(多摩川洪水版)



(5)防災資源一覧

広域避難場所	きたみふれあい広場一帯 多摩川河川敷・二子橋一帯				
一時集合所	きたみふれあい広場 ゆうぼうと世田谷レクセンター周辺 リコーグランド 宇奈根氷川神社 鎌田2丁目南公園 鎌田天神社境内 喜多見公園 喜多見第3苗圃 喜多見中学校校庭 砧小学校校庭 砧南中学校校庭 慶元寺境内 三角公園 次大夫堀公園 次大夫堀公園(下流) 須賀神社境内 多摩川河川敷 多摩川河川敷(警視庁交通安全指導所前) 滝下橋緑道 知行院境内 宝寿院前 明正小学校校庭				
指定避難所	喜多見小学校 喜多見中学校 砧南小学校 砧南中学校				
予備避難所	ゆうぼうと世田谷レクセンター フィットネスクラブ・ティップネス喜多見店				
福祉避難所(母子)					
福祉避難所(高齢者)	特別養護老人ホーム喜多見ホーム 特別養護老人ホーム博水の郷				
福祉避難所(障害者)	砧工房分場キタミ・クリーンファーム				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所	砧南中学校 駒澤大学玉川校舎(第一体育館)		
水害時避難所(第2次)	砧小学校				
土砂災害時避難所	(予備)喜多見地区会館				
避難所救護所	砧南中学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設					
一時避難施設(車中避難)		帰宅困難者支援施設		0 ヶ所	
ボランティアマッチングセンター					
マンホールトイレ	7 ヶ所	防災行政無線塔	10 ヶ所	緑地	1 ヶ所
輸送拠点					
給水拠点	砧下浄水所 砧浄水場				
広域用防災倉庫	喜多見広域用防災倉庫 ※一時撤去中				
土のうステーション	ゆうぼうと世田谷レクセンター 宇奈根1-22こどもの遊び場 宇奈根地区会館 宇奈根東部記念公園 宇奈根龍王公園 鎌田つつみ広場 鎌田区民センター 鎌田区民集会所 喜多見まちづくりセンター 喜多見公園				
警察署・交番	鎌田駐在所 喜多見駅前交番 喜多見駐在所 東宝前交番				
消防署・出張所					

(6)防災資源マップ



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ◎ 総合支所 | ■ 広域避難場所 |
| ● まちづくりセンター | ■ 指定避難所 |
| ⊕ セタがや災害ボランティアセンター | ■ 予備避難所 |
| Ⓔ 広域用防災倉庫 | ■ 福祉避難所(母子) |
| Ⓕ 給水拠点 | ★ 福祉避難所(高齢者) |
| Ⓖ 防災行政無線塔 | ☆ 福祉避難所(障害者) |
| Ⓖ マンホールトイレ | Ⓐ 水害時避難所(第1次) |
| ■ 土のうステーション | Ⓑ 水害時避難所(第2次) |
| Ⓜ 警察署 | ◆ 野川・仙川洪水時避難所 |
| Ⓜ 交番 | ■ 水害時避難所(狛江市) |
| Ⓜ 消防署 | ■ 水害時避難所(調布市) |
| Ⓜ 消防出張所 | ■ 土砂災害時避難所 |
| Ⓜ 身近な広場 | Ⓜ 避難所救護所 |
| Ⓜ 公園 | Ⓜ 東京都災害拠点病院 |
| Ⓜ 緑地 | Ⓜ 東京都災害拠点連携病院 |
| | Ⓜ 緊急医療救護所 |
| | Ⓜ 一時滞在施設 |
| | Ⓜ 帰宅困難者支援施設 |
| | Ⓜ ボランティアマッチングセンター |
| | Ⓜ 輸送拠点等 |
| | Ⓜ 一時避難施設(車中避難) |

出典
 世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和6年7月発行
 世田谷区の町丁目別人口と世帯数 令和6年3月1日
 世田谷区の年齢別人口 令和6年3月1日
 世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ(多摩川洪水版・内水氾濫・中小河川洪水版)令和6年7月発行
 世田谷の土地利用2021 世田谷区土地利用現況調査
 世田谷区GISオープンデータ
 令和2年国勢調査による 東京都の昼間人口(従業地・通学地による人口)第11表
 地域危険度一覧表(地震に関する地域危険度測定調査[第9回]) 令和4年9月
 首都直下地震等による東京の被害想定 報告書 令和4年5月25日
 世田谷区防災マップデータ 令和6年3月

(7)区民アンケート(喜多見地区)

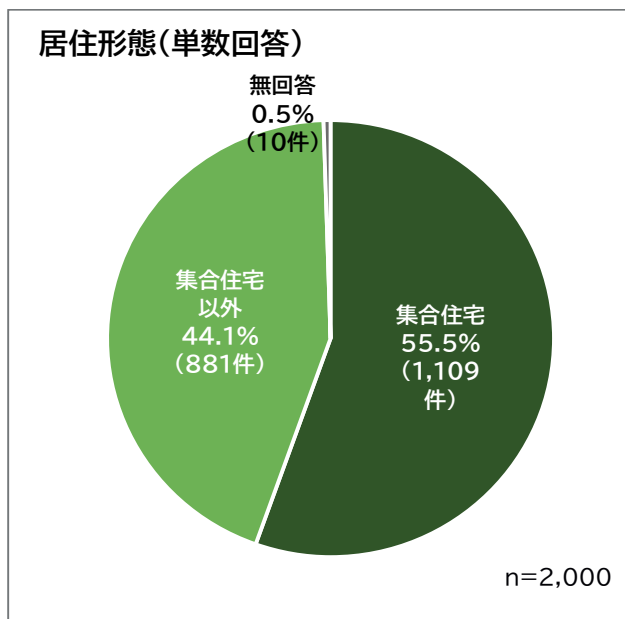
このアンケートは、今後の区内各地域及び地区における災害関連施策の検討や取組みに活用することを目的として、令和6年度に災害対策課が実施した「在宅避難支援事業(防災カタログギフト)」に合わせて行ったものである。

なお、以下に記載している回答集計結果は、カタログギフト申込者のうち、WEBで申し込みをした区民へ任意での回答を依頼し、令和6年8月9日から9月8日までに回収できた分である。

単純集計(1/5)

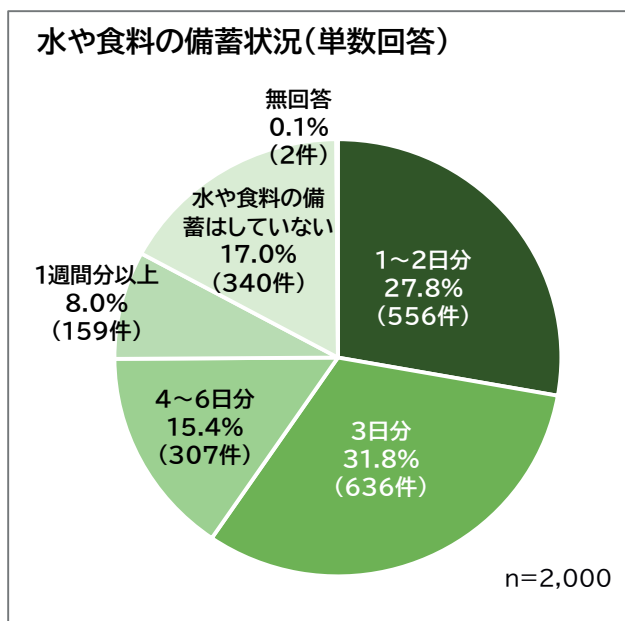
居住形態

【1】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



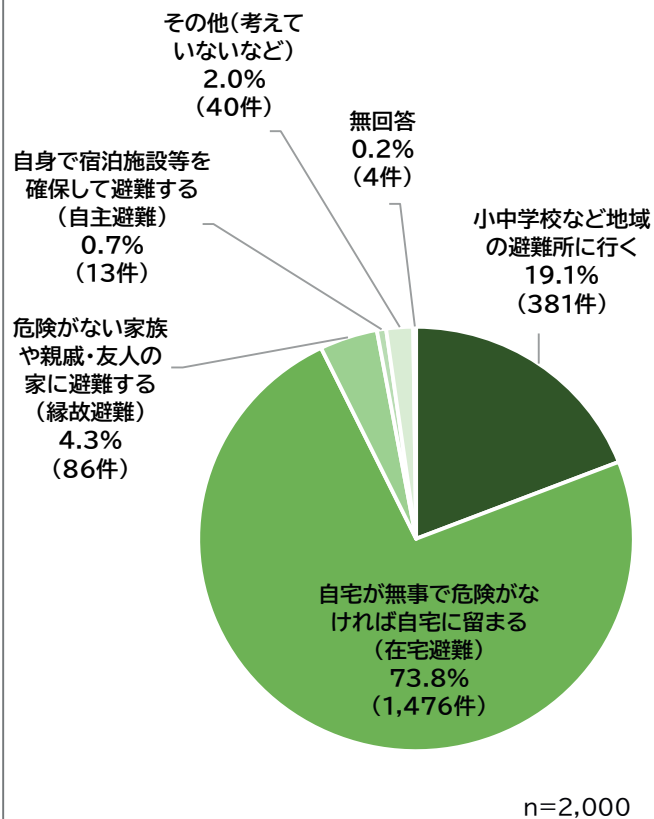
(7)区民アンケート(喜多見地区)

単純集計(2/5)

震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



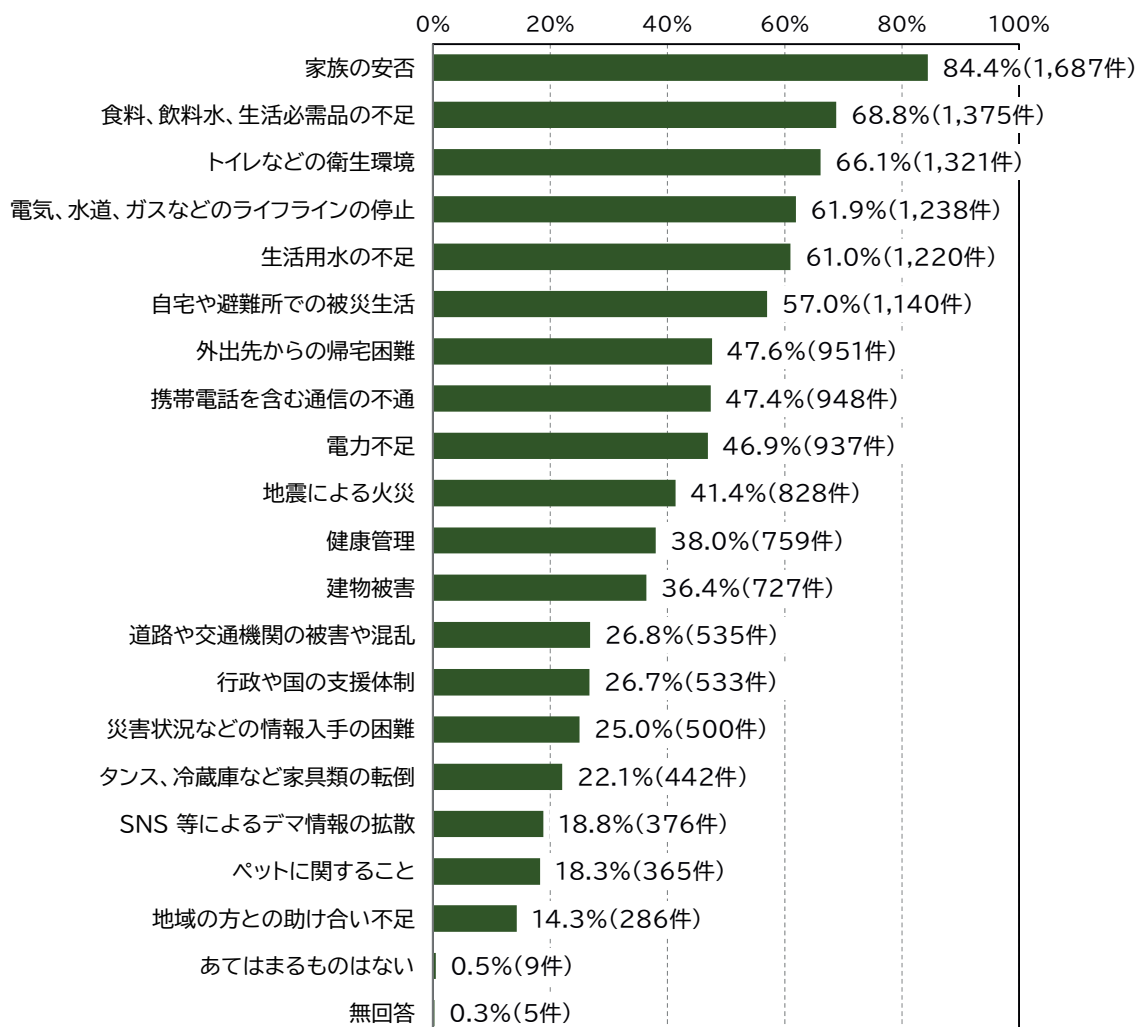
(7)区民アンケート(喜多見地区)

単純集計(3/5)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

災害時の心配ごと(複数回答)



n=2,000

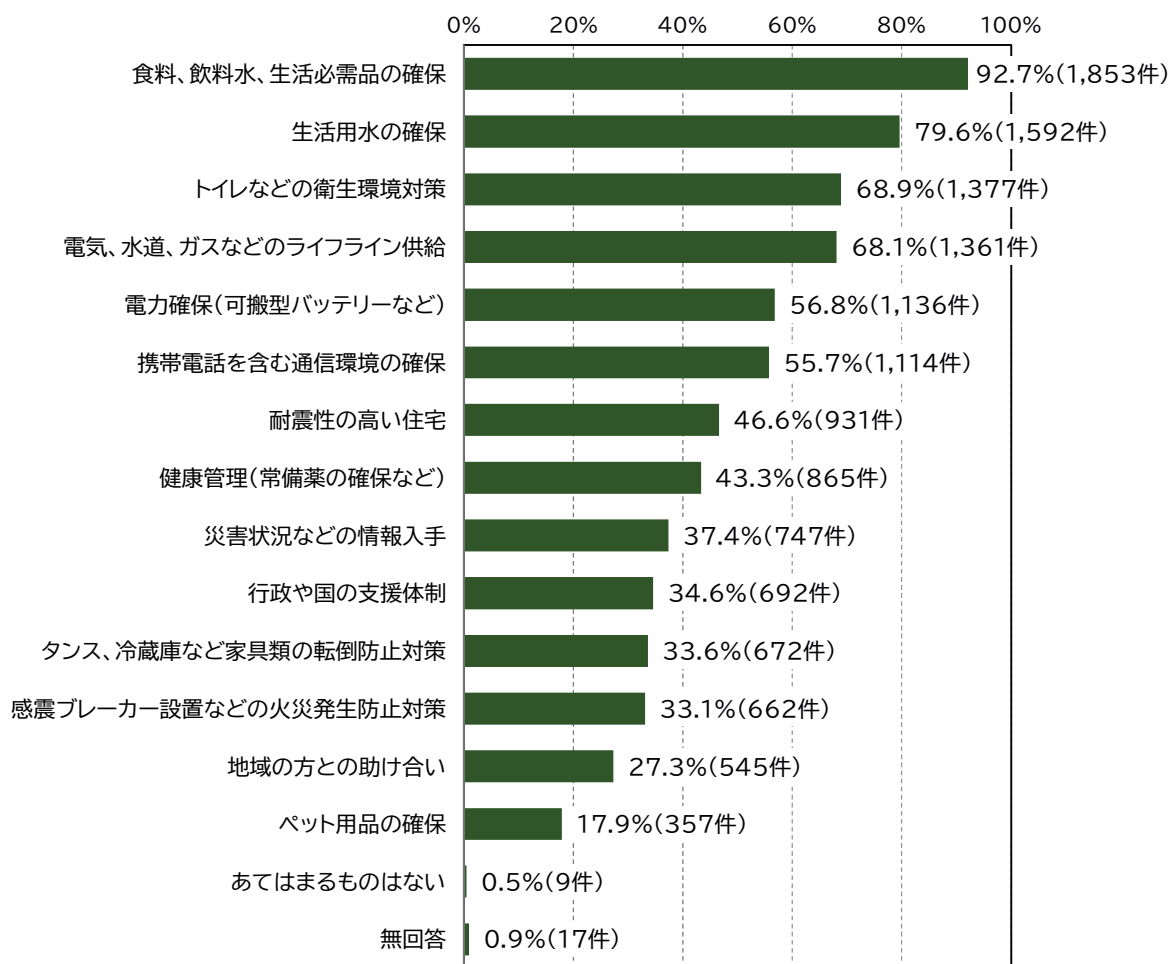
(7)区民アンケート(喜多見地区)

単純集計(4/5)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



n=2,000

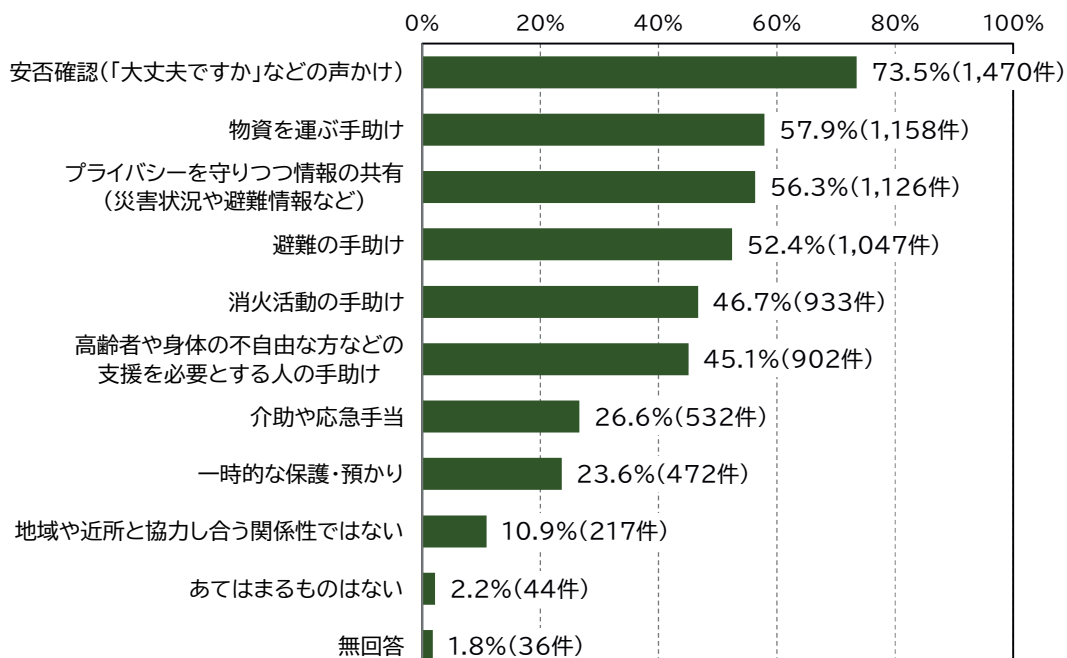
(7)区民アンケート(喜多見地区)

単純集計(5/5)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

災害時にできる住民同士の支援(複数回答)

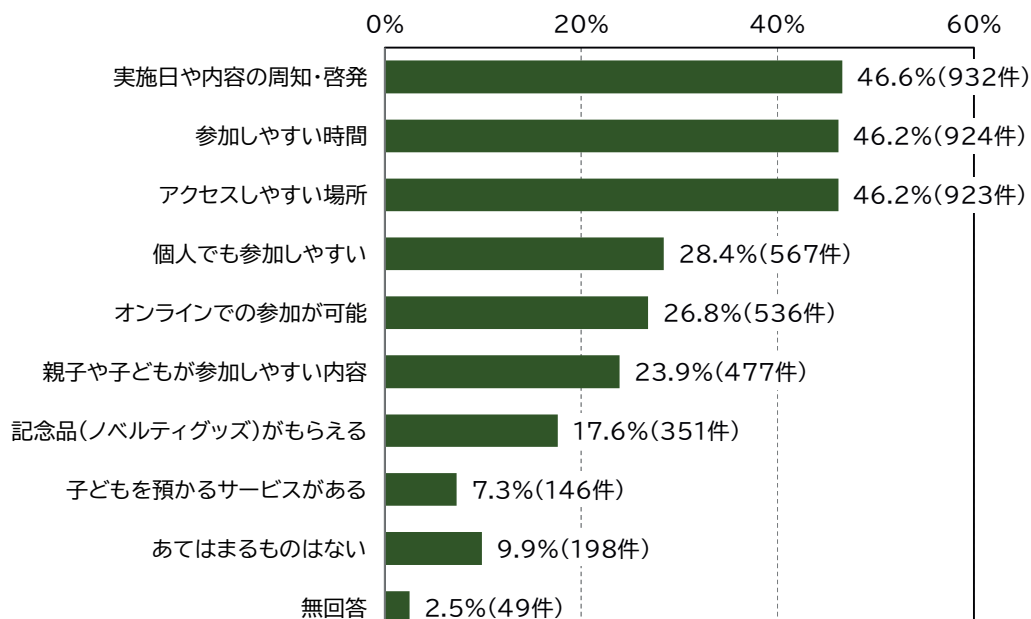


n=2,000

防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



n=2,000

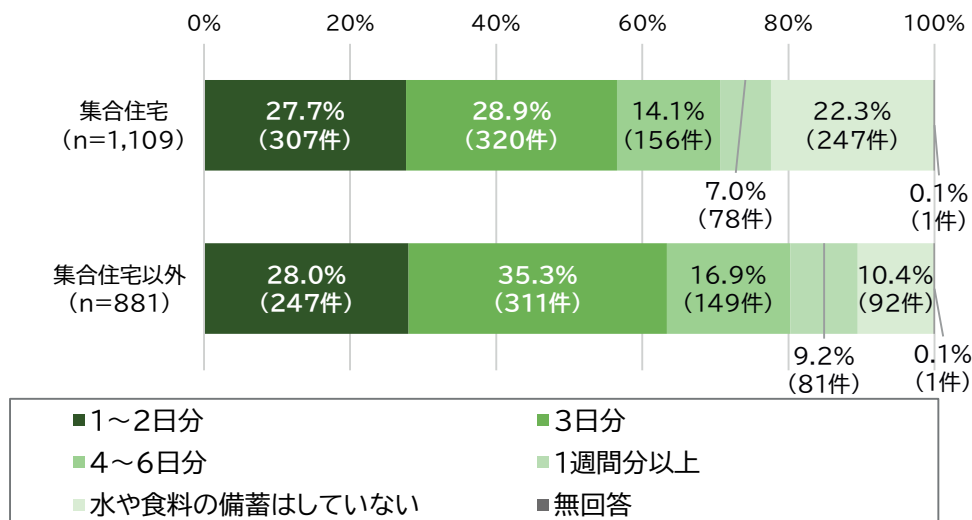
(7)区民アンケート(喜多見地区)

クロス集計(1/4)

水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。

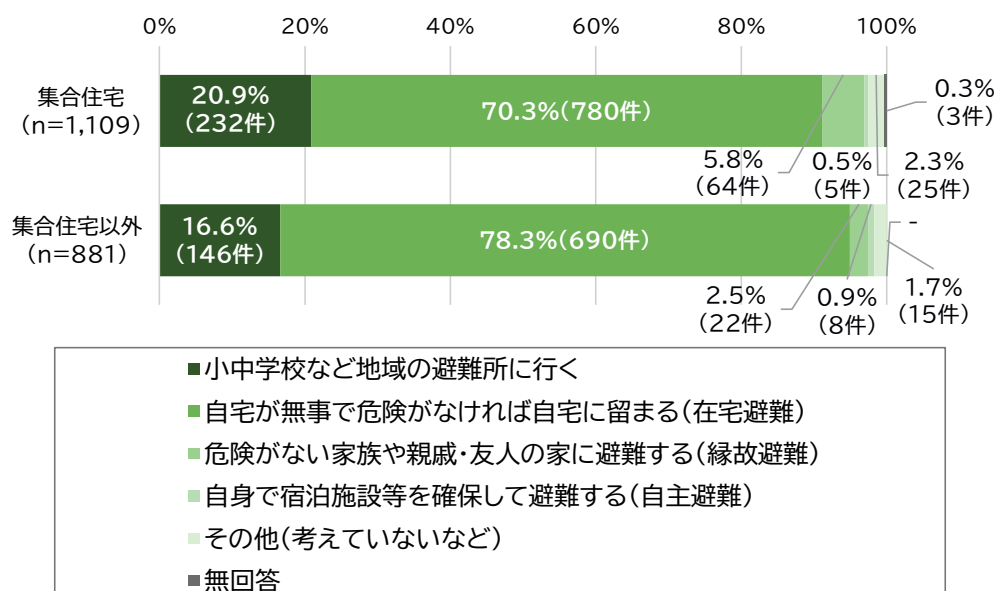
【居住形態別】水や食料の備蓄状況(単数回答)



震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

【居住形態別】震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



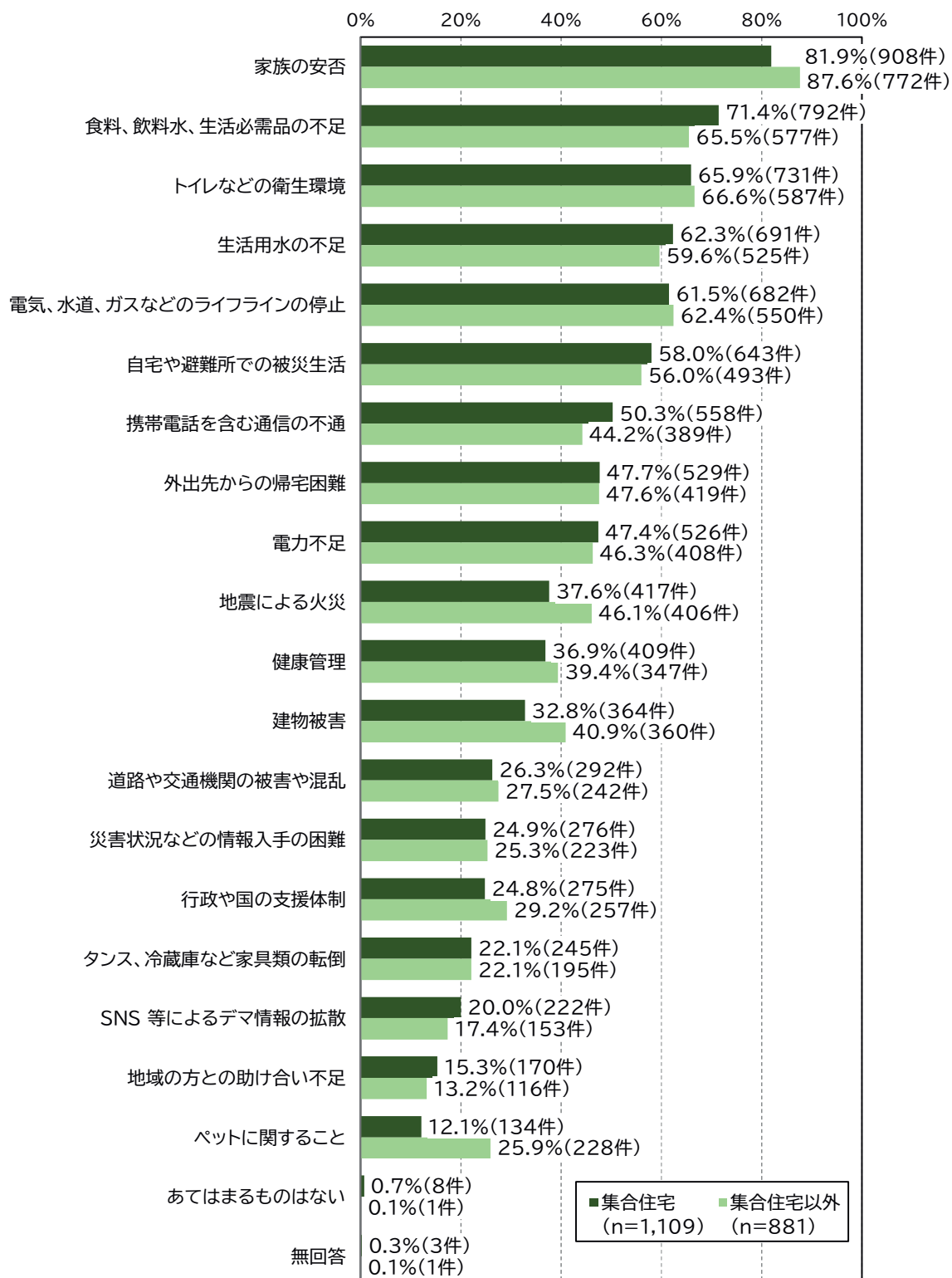
(7)区民アンケート(喜多見地区)

クロス集計(2/4)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

【居住形態別】災害時の心配ごと(複数回答)



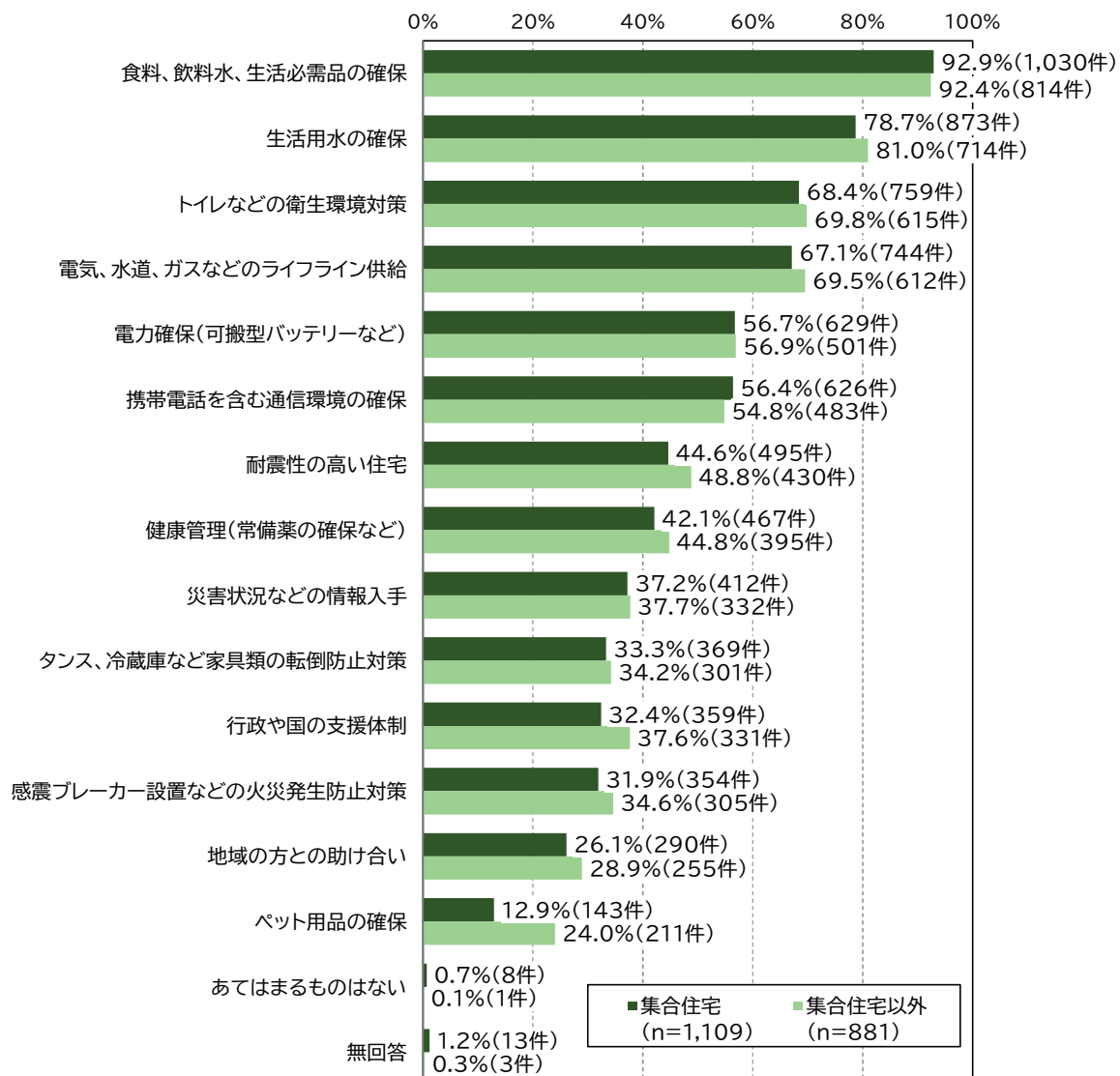
(7)区民アンケート(喜多見地区)

クロス集計(3/4)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【居住形態別】在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



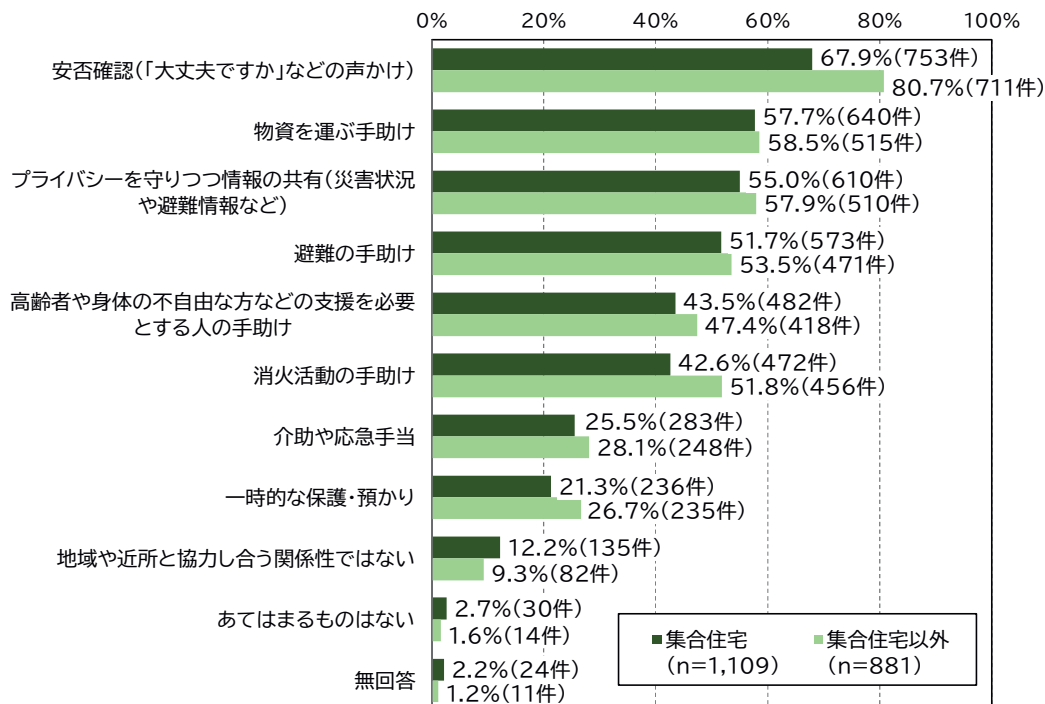
(7)区民アンケート(喜多見地区)

クロス集計(4/4)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

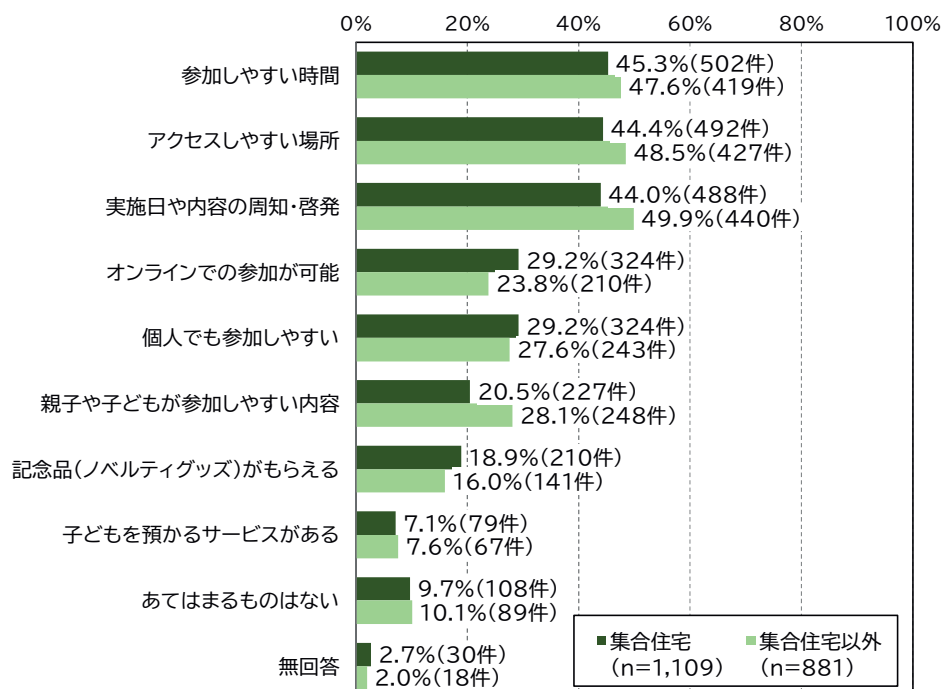
【居住形態別】災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

【居住形態別】防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備			
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ	
										数量	場所
喜多見北部町会	5	○		防災会議	年6回	○			○		
喜多見西部町会	4	○		町会理事会にて防災に関する話題を議題に挙げている。	月1回	○		○		1	滝下橋緑道世田谷通倉庫
喜多見中部町会	4	○		・ハザードマップ勉強会(8月18日) ・防災塾の報告(10月予定) ・消防署員の講話 ※いずれも町会理事会にて実施	1回 1回 1回	○		○			
喜多見東部町会	45	○		町会理事会にて防災に関する話題を議題に挙げている。	月1回	○		○		2	喜多見一丁目公園防災倉庫 知行院内防災倉庫
喜多見上部自治会	5	○		自治会理事会にて防災に関する話題を議題に挙げている。 ※マニュアル作成の打ち合わせ	月1回	○		○			
都営喜多見二丁目団地自治会	15	○		防災訓練 地域点検	1 1	○		○		1	団地内防災倉庫
宇奈根町会	40	○		町会役員防災	1	○		○		2	宇奈根氷川神社倉庫
鎌田協和会	8	○		防災会議	1	○		○			購入検討中
法人格鎌田南睦会	6	○		防災部 部会議	毎月	○		○		1	鎌田南睦会会館防災倉庫

団体名	消火資機材の配備						防災訓練等の実施			
	D型ポンプ		消火器		その他		実施している	実施していない	防災訓練	
	数量	場所	数量	場所	名称	場所			回数	実施場所
喜多見北部町会							○		1	喜多見駅前広場
喜多見西部町会	1	滝下橋緑道世田谷通倉庫	4	滝下橋緑道世田谷通倉庫	水槽1	滝下橋緑道世田谷通倉庫	○		1	滝下橋緑道中央広場
喜多見中部町会	1	喜多見緑道防災倉庫	18	町会内 (喜多見中部町会防災マップに記載)	防災服4着	喜多見緑道防災倉庫	○		1	喜多見中学校
喜多見東部町会	3	喜多見一丁目公園防災倉庫 知行院内防災倉庫	1	喜多見一丁目公園防災倉庫 知行院内防災倉庫	消防ホース 発電機 投光器	喜多見一丁目公園防災倉庫 知行院内防災倉庫	○		1	喜多見小学校
喜多見上部自治会	1	自治会事務所隣防災倉庫	4	防災倉庫内			○		1	次大夫堀公園 えのきひろば
都営喜多見二丁目団地自治会	2	団地内防災倉庫	71	各棟 (各階ごとに設置)			○		2	地域内公園、 集会所
宇奈根町会	5	宇奈根氷川神社倉庫	23	宇奈根氷川神社倉庫(3台) 各町会役員宅(20台)	発電機5 投光機6		○		1	宇奈根氷川神社
鎌田協和会			3	鎌田天神社倉庫			○		1	砧南小学校
法人格鎌田南睦会	2	鎌田南睦会会館防災倉庫 鎌田南睦会会館内備品棚 三角公園防災倉庫	37	町会3本 世田谷区34本			○		2	①砧南中学校(避難訓練) ②東京都市大学グラウンド(防災訓練)

団体名	防災訓練等の実施				防災マップ											
	救命救急講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							
	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他
喜多見北部町会			共助の訓練	町会内全域				○								
喜多見西部町会			東京防災学習セミナー	動画配信	○					○	○	○	○	○	○	・AED設置施設 ・町会掲示板 ・公衆電話 ・公衆トイレ
喜多見中部町会			D型ポンプ実習 (年1回)	慶元寺駐車場	○							○	○	○		施設一覧 AED 公衆トイレ 給水拠点
喜多見東部町会			D型ポンプ実習 (月1回)	防災倉庫 (2ヶ所)				○	※マップではなく町会名簿に掲載							
喜多見上部自治会			D型ポンプ点検・実習 (2～3ヶ月に1回)		○ ※マップは自治会加入の各家庭に配布済み					○	○	○	○	○	○	
都営喜多見二丁目団地自治会								○								
宇奈根町会			D型ポンプ訓練 (男女共月1回)	宇奈根氷川神社			○			○	○	○	○		○	AED 防災トイレ
鎌田協和会	1	鎌田天神社社務所	防災講習会	町会研修会の中で実施	○						○	○		○		水害時避難経路
法人格鎌田南睦会	1	区の講習会に2, 3名参加	D型ポンプ点検実習	鎌田南睦会会館	○						○	○	○	○	○	町会内防災倉庫

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要 支援者協定			避難行動要支援者対策				
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない	日頃からの見守り活動	避難行動要支援者体験	その他	特に実施していない
喜多見北部町会	1		0					狛江市		○			民生委員との会議			
喜多見西部町会	3		0				○					○				○
喜多見中部町会		○		○						○						○
喜多見東部町会			0				○					○				○
喜多見上部自治会	1			○			○					○				○
都営喜多見二丁目 団地自治会	1			○								○				○
宇奈根町会	4		1				○			○			民生委員との連携			
鎌田協和会	0		0				○					○				○
法人格鎌田南睦会	4			○	○			駒澤大学		○						○

団体名	連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				救出救助に係る資機材の配備										
	簡易無線	連絡網の 作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール
喜多見北部町会			町会SNSのいちを 活用				○			○	1	1	1	3	2	13	1	1
喜多見西部町会			町会名簿による電話、 メール連絡				○			○	1	1	2	1	2	20		2
喜多見中部町会			特になし				○			○			1	1	1	25		1
喜多見東部町会			特になし				○			○			3		2 (大 小)	40		2
喜多見上部自治会			特になし	○						○	1		1		1	5		1
都営喜多見二丁目 団地自治会			特になし				○			○	1	1	6	1	2	10		2
宇奈根町会	○	○	特になし			○				○			5	2	2	50	1	1 (大)
鎌田協和会			特になし				○			○	1		2			15		1
法人格鎌田南睦会		○	LINE・携帯	○				防災部組織規定・ 組織図 昭和53年 5月作成 ※年次更新		○	2	3	3	3	3	39		1 (大)

団体名	救出救助に係る資機材の配備								食糧等の備蓄			
	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン
喜多見北部町会	2	2	1	1	2		ロープ3本	喜多見地区会館倉庫		○	200	100
喜多見西部町会	2	4	2	1	2	1	ボルトカッター2個	滝下橋緑道中央広場東側倉庫		○	150	
喜多見中部町会	1	1				1		喜多見中部町会集会所倉庫		○		
喜多見東部町会	3	1	2				1	喜多見一丁目公園防災倉庫	○			
喜多見上部自治会	1							自治会事務所隣防災倉庫	○			
都営喜多見二丁目団地自治会	5	1	3	1	2	1		防災倉庫		○		48
宇奈根町会	4	チェンソー	2	1	2	2	寸銅なべ大3個 コンロ3個 カマ3個 鍋大中5個	宇奈根氷川神社倉庫		○	200	200
鎌田協和会	2		2					神社内倉庫		○		48
法人格鎌田南睦会	12		1	1	1		大ハンマー1個、12mロープ1本、トビロ6つ、トラロープ多数、エンジンソー1個、電動ソー1機、カケヤ1個、ハンドメガホン2機、懐中電灯6つ、角スコップ2個、発電機3台、救命ボート1艘	鎌田南睦会会館防災倉庫 鎌田南睦会会館内備品棚 三角公園防災倉庫	○			100

団体名	食糧等の備蓄													その他の 防災活動	
	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	災害用食料 その他	非常用トイレ	照明	発電機	蓄電池セット	給水タンク	その他	保管場所		備蓄品配布先
喜多見北部町会	100	200		200	1		200		4 (小型)				喜多見地区会館 倉庫		
喜多見西部町会		216		99			ポータブル トイレ3		1	2		簡易トイレ 248枚	滝下橋緑道世田 谷通倉庫 滝下橋緑道中央 倉庫		
喜多見中部町会		60	20	150	5		25	1	1	1	2		喜多見中部町会 集会所倉庫		
喜多見東部町会													喜多見小学校防 災倉庫		
喜多見上部自治会										1					
都営喜多見二丁目 団地自治会		40			1		1	5	2	2	2		防災倉庫 消防隊倉庫(カ セットコンロ、発 電機のみ)		
宇奈根町会	200	40		50	4			6	6	2			宇奈根氷川神社 倉庫		
鎌田協和会	120								1	1			鎌田天神社社務 所		
法人格鎌田南睦会				200					2	2					

3 喜多見地区の課題と取り組み

喜多見地区は南北に長く、それぞれ課題も異なるため、これまでの喜多見地区防災塾にて9つある管内町会自治会ごとに、取り組み・課題をまとめた。

地区全体

■取り組んだこと

- ・D 型可搬式ポンプを所有し、区民消火隊を組織している町会・自治会は、操作研修会・発表会に参加している。
- ・管内小中学校において、各町会自治会の運営組織が避難所運営訓練を実施している。
- ・令和 6 年度の防災塾では、在宅避難を推進するための検討を行った。

■在宅避難の推進に関する意見

<家庭での備え>

- ・非常用トイレやバッテリーの準備
- ・日常的に使う食料や日用品のローリングストックを行う
- ・家具転倒防止を行う
- ・ガソリンは半分無くなったら補充する
- ・震災時に浄水場で給水できることを周知すべき
- ・テント等のキャンプ用品も可能なら用意した方がいい
- ・家族内での災害時の連絡方法を確認しておく

<地域の備え>

- ・避難所に行かないといけないと考えている人が多いため、在宅避難の周知が必要
- ・学校、スポーツチーム、企業、ボランティアなどの地域団体との連携が必要
- ・各町会・自治会での防災訓練の実施
- ・掲示板など町会・自治会内での連絡手段を考える
- ・町会・自治会内に障害者や高齢者が多いが、民生委員が少なく対応が難しい
- ・家庭で用意できないリヤカーや消防ポンプを町会・自治会で備蓄している
- ・地域の高齢者施設との連携を進める必要がある

<啓発方法>

- ・メールや SNS などの活用を進めるべき
- ・地区防災計画をもっと周知すべき
- ・回覧板よりも、掲示板での周知が効果的
- ・町会・自治会に入会してもらうよう取り組むことが必要
- ・震災時・水害時の避難所の違い等の周知が必要
- ・防災チラシのポスティング
- ・日頃から友人へ情報提供する

■課題

- ・指定避難所への避難だけではなく、自宅等での在宅避難という手段があることを住民に理解していただく必要がある。
- ・避難所へ行けばすぐに行政からの十分な支援(食糧・物資)を受けられるという認識を

改めていただく必要がある。

- ・メールや SNS、掲示板、口コミなどを活用して、効果的に情報発信していく必要がある。
- ・町会・自治会で防災訓練を行っているが、参加者が多くないので工夫が必要
- ・避難所として使用した学校の授業再開に向けての原状復旧が急務である。

喜多見北部町会

■取り組んだこと

- ・共助の訓練を、段階を追って町会全域に広げ、年 2 回開催。
ご近所での見回りや安否確認を共有し、各家庭での備蓄や耐震対策を見直す。
- ・令和 6 年 3 月、喜多見駅前での防災訓練を 10 年ぶりに開催。
主に自助を意識し、便利な備蓄品や簡易トイレの紹介、ペットの防災に力を入れた。
- ・町会 SNS「いちのいち」を導入。発信、投稿機能を使つての訓練を実施した。

■課題

- ・防災をリードするマンパワーの不足。
- ・いまだに「町会や行政が何とかしてくれる」と、備蓄にも関心を持たない方が一定数いること。

■今後取り組むこと

- ・共助の訓練、駅前での防災訓練の継続。
- ・防災意識を高める情報発信の工夫と継続。
- ・町会 SNS「いちのいち」での、地域内情報発信の試行。

喜多見西部町会

■取り組んだこと

- ・「東京防災学習セミナー」を毎年継続して受講した。
- ・「防災訓練」を毎年 3 月に実施した。
- ・「町会防災マップ」を作成し、全町会員に配布した。(都の防災啓発事業の助成金を活用)
- ・ガスパワー発電機、ポータブルトイレを購入し、防災力強化を図った。(都の関東大震災 100 年防災力強化の助成金を活用)

■課題

- ・「負担が大きい」「責任を負いたくない」との声があり、要援護者支援(要支援者協定)をなかなか進められない。
- ・防災訓練、防災学習、避難所運営訓練に多くの参加者を集められない。

■今後取り組むこと

- ・防災訓練では、D 型ポンプの放水・スタンドパイプの操作訓練を実施する。
- ・これまでの防災対策は地震に偏っていたため、台風災害等も考慮していく。
- ・町会内に避難指示が出た場合の対応を検討していく。

- ・「要支援者協定」を進められていないが、町会としてどのような支援ができるか検討を進めていく。
- ・「東京防災学習セミナー」を継続して受講し、会員の防災への関心・知識を高める。

喜多見中部町会

■取り組んだこと

- ・D 級ポンプは毎月点検を行い、町会理事には起動操作および放水操作を経験していただいた。また、操作マニュアルを作成しポンプと共に保管している。
- ・8 月理事会でハザードマップの勉強会を行った。
- ・10 月町会理事会で喜多見地区防災塾の内容を報告した。

■課題

- ・これまで水害への対応は考えてこなかったが、内水氾濫の場合はどこが被害を受けるか分からないため心配している。
- ・雨水等の排水設備がどのように整備されており、どの程度の雨でオーバーフローするかわからない。
- ・台風19号の際、水平避難の必要があるか、垂直避難で良いのか迷う方がいた。
- ・喜多見中学校で喜多見地区震災訓練および避難所運営訓練が行われたが、参加者が令和 4 年よりわずかに増加した。

■今後取り組むこと

- ・防災部だけではなく、町会全体として災害時に共助できる仕組みを考えていく。
- ・要援護者支援等にも活用できるよう、黄色いハンカチ・黄色いリボン運動のように地域全体で防災に取り組みたい。
- ・ハザードマップを活用し、各家庭の水防対策や避難方法をあらかじめ考えていただく。
- ・震災訓練、避難所運営訓練等への関心を高めていきたい。

喜多見東部町会

■取り組んだこと

- ・毎月、装備品・D 級ポンプの点検・訓練を実施している。
- ・町会の防災訓練に地元の小学校(喜多見小学校)の6年生に参加してもらい、防災の意識を高めてもらっている。

■課題

- ・洪水時には冠水することが予想され、以前の野川増水時には、10数件が床上・床下浸水した。町会で訓練を実施しているが震災時を想定したものとなっている。
- ・災害準備品用に町会のお金を蓄えているが、利用先は未定となっている。
- ・町会の防災訓練に、町会加入世帯の参加は多いが、それ以外の一般の世帯は参加が少

ない。

■今後取り組むこと

- ・町会としての水害対策の方針がたっていないため、今後検討する必要がある。
- ・D級ポンプの操作等について町会内の他の人にも広く習得させていきたい。

喜多見上部自治会

■取り組んだこと

- ・自治会で作成している独自の防災マニュアルの改訂(第3版)を行い、自治会加入世帯へ全戸配布を実施した。
- ・避難所の運営の考え方として、運営組織委員だけでなく、地域の方でも、いざという時に避難所運営を開設できるように訓練を実施している。

■課題

- ・学校が避難所となるのは基本的に震災時のみであり、水害時には対応していない。そのため避難所運営も地震が起きた時のためのものとなっている。今後は行政に任せっきりになるのではなく、何らかの協力をしていくべきである。
- ・自治会のWEBサイトの充実化を行ったが、閲覧数は伸びていないため改善の余地がある。

■今後取り組むこと

- ・安否確認カードの準備を進めたいが、自治会予算ではすぐに作成することはできないので、今後どのように準備を進めるか検討する。
- ・町会の防災マニュアルや避難所運営訓練のマニュアルを町会内の人たちに広く周知するためにWEBサイト上にアップロードしたが、URLをどのように周知していくか検討する。

都営喜多見2丁目団地自治会

■取り組んだこと

- ・防災訓練では、防災ベルを鳴らして外に出てもらい、各棟が集合して、人数を確認してから訓練会場に誘導した。
- ・台風19号の際、万一を考え、避難所に避難した方もいた。避難について正しく理解し、行動するために東京都の防災マップ「東京マイ・タイムライン」を1階の住民83世帯すべてに配布した。

■課題

- ・自主避難等の注意の呼びかけに即座に行動できない方、例えば、身寄り場所がない方、近所づきあいの薄い方、車椅子の方、障がいを抱えている方も住んでいる。

- ・一時的な避難場所として、団地の上層階の空き部屋を開放してもらいたいという声がある。
- ・多摩川が氾濫した場合の浸水を想定すると、2階以上に避難し救助を待つしかない。

■今後取り組むこと

- ・自主避難等の注意の呼びかけに即座に行動できない方などの避難の仕方について検討していく。
- ・民生委員の方と打ち合わせを密にしたい。

宇奈根町会

■取り組んだこと

- ・防災訓練を実施し、消防団と町会消火隊での合同で放水体験を行った。
- ・消火隊は毎月活動をしている。女性の消火隊を設立し毎月19日に町会内で火の用心の巡回をしている。
- ・火災発生時には誰でも使用できるように、消火器を町会役員宅の塀等に設置している。

■課題

- ・台風19号では、町会内で約3分の1の世帯が床下・床上浸水の被害となった。
- ・宇奈根地域は老人ホームや障がい者施設が多いので、施設にも参加を呼びかけている。

■今後取り組むこと

- ・要援護者(要支援者)リストはあるが、リストに載っていない高齢者とコミュニケーションをとるため、民生委員と情報共有を行う。

鎌田協和会

■取り組んだこと

- ・砧南小学校避難所運営訓練のミーティングでは、台風災害等も含めた検討を行った。

■課題

- ・防災に関する活動は年1回程度のため意識が薄くなっている。
- ・町会内に新しい住民と古くからの住民との接点も少ないため、災害時のためにも解決する必要がある。
- ・防災の面も含め、町会員相互の交流を深め助け合いの心を育てていく必要がある。

■今後取り組むこと

- ・仙川と野川の合流地点となるため、水害への対策をしっかりと考えていきたい。
- ・防災に関する意識が薄くなっているため、一人ひとりの意識を高めていきたい。

- ・スタンドパイプを所有していないので、数年の間には購入したい。
- ・町会と住民と各自の防災に対する認識を深めていきたい。

鎌田南睦会

■取り組んだこと

- ・町会の消火器点検・世田谷区と町会の消火器の場所の確認
- ・町会内の消火栓の場所の確認
- ・3月、6月、9月、12月、D型ポンプ2台 点検
- ・特別養護老人ホーム博水の郷との防災訓練を実施
- ・水害、震災どきの避難所の確認
- ・避難所設営訓練の実施
- ・9月防災訓練実施
- ・D型ポンプ操作大会参加
- ・防災関係の講習会参加
- ・防災士 資格講習会 参加

■課題

- ・消火器がどの場所にあるかを住民のかたに再度お知らせをする。
- ・水害、震災時の避難所を住民のかたに再度お知らせをする
- ・多くの方に9月防災訓練に参加してもらう。
- ・避難所設営訓練に多くの方に参加してもらう。

■今後取り組むこと

- ・住民が災害から被害を免れるための必要な情報、防災、減災のための備えの情報を災害履歴から導き、普段から情報を供用できるようにシステムを作る。
- ・安否確認のシステムを作る。